

一般に、財政破綻とは

- ①債務不履行(デフォルト)
- ②金利の高騰
- ③制御困難な高インフレ

のいずれかが起こることだとされています。

積極財政論者、とりわけ MMT を支持する論者は、日本がこれからの状態に陥る事は考えられないと主張してきました。

ですから、積極財政論者に反論して、日本が財政破綻に向かっていると主張したいのならこれら① ② ③のいずれかが起きる可能性について説明しなければなりません。

実際健全財政論者の経済学者やアナリストたちは、これらのいずれか特に② ③が起きる可能性について根本的に間違っているとは言え、一応は説明しようとしていました。

他方で積極財政を唱える与党政治家たちは MMT あるいはアメリカの主流派経済学の「新しい見解」などを参考にしつつ、① ② ③が起きる事は考えにくいことを論理的に説明し、国民を説得しようとしてきました。

そのような議論は国会でも行われました。

ところが矢野次官はこうした論争を一切無視して、① ② ③の  
いずれの論点についても言及すらしなかったのです。

そして政治家たちの積極財政論を「ばらまき合戦」呼ばわりを  
しました。

要するに、矢野論文は、論文と呼ばれてはいるものの、およそ  
論文の名に値しない代物だったということです。